

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 東京勤労者医療会 代々木病院 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

安倍政権退陣！憲法と平和、人権を守りぬき、誰もが安心して住み続けられるまちづくりのネットワークを構築し、早期に5千名の友の会をつくろう！

第49回代々木健康友の会定期総会

秋の深まりを感じる10月25日(日)、代々木駅から徒歩5分ほどの東興ビル7階の会議室で第49回定期総会を開き、130人が集いました。

共同組織拡大に お力添えを

代々木健康友の会の布施仁会長は9月19日、「戦争法」が強行採決された事に対し、強い意志を持って糾弾しなければなりませんと話しました。現在全国の共同組織の会員は360万人います。そして2年に1度の共同組織活動交流集会



布施仁会長

どんな困難にも めげない

来賓を代表して代々木病院の井上均院長から挨拶をいただきました。「11月から電子カルテを導入しま



総会の終盤、会員や来賓の前で挨拶をする2016年度の幹事

が、来年石川県で開かれます。そのためには共同組織を大きくしなければなりません。10月から始まった共同組織拡大月間では、病院と友の会は250名の会員と「いつでも元氣」30部拡大の目標を掲げています。皆さんのお力添えをお願いします、と挨拶しました。

また社会保障費が3900億円削減され、子どもの貧困、高齢者の貧困が増え、独居老人のうち年収160万円以下が男性

ネットワー づくりが重要



井上均院長

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

が、病棟の医療を続けながらどんな困難にもめげず、民医連の灯を消さない、守りぬくことを誓います」と力強い言葉をいただきました。

決算、予算案について伊香副会長より報告。特別決議、新役員の提案を行いました。議事に関するは一括で採択され承認されました。

表彰は長年幹事として活躍された柴崎俊子さん、代々木健康友の会事務局長 清見温子

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

が、病棟の医療を続けながらどんな困難にもめげず、民医連の灯を消さない、守りぬくことを誓います」と力強い言葉をいただきました。

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

が、病棟の医療を続けながらどんな困難にもめげず、民医連の灯を消さない、守りぬくことを誓います」と力強い言葉をいただきました。

決算、予算案について伊香副会長より報告。特別決議、新役員の提案を行いました。議事に関するは一括で採択され承認されました。

表彰は長年幹事として活躍された柴崎俊子さん、代々木健康友の会事務局長 清見温子

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

が、病棟の医療を続けながらどんな困難にもめげず、民医連の灯を消さない、守りぬくことを誓います」と力強い言葉をいただきました。

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

決算、予算案について伊香副会長より報告。特別決議、新役員の提案を行いました。議事に関するは一括で採択され承認されました。

表彰は長年幹事として活躍された柴崎俊子さん、代々木健康友の会事務局長 清見温子

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

が、病棟の医療を続けながらどんな困難にもめげず、民医連の灯を消さない、守りぬくことを誓います」と力強い言葉をいただきました。

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

で6割、女性5割で、医療介護難民が生まれ助けを求めている。医療や介護で地域にうつて出る

ことが求められている。社会保障削減で病院の経営が困難になっている

11月1日より電子カルテを始めました

医療サービスの向上とより安全な医療の提供を目指して、11月1日より電子カルテを導入しています。患者の皆様にはご協力いただき、ありがとうございます。

システム操作の不慣れや想定外のトラブルの発生で診察や会計等で待ち時間が長くなり、大変ご迷惑をおかけしております。

更に研修・訓練を重ねて、患者の皆様には「電子カルテに変えて良かった」と思って頂けるよう努力して参ります。今後ともよろしくお願い致します。

電子カルテ導入委員会委員長 一ノ瀬 義雄

萱の千駄

「ことば」を道具とする職業を挙げるとすれば、何が思い浮かぶだろうか。詩人、作家、アナウンサー、俳優など言う方もいるだろうか。政治家をその中に入れたら、間違いだらうか。戦争立法強行採決のてん末を見て感じたことだ。今の政治家は、ことばで仕事をしない。思慮を欠いたヤジに怒号が入り交じり、乱闘騒ぎが起る始末。人がことばを失えば、考えることすらできないという当たり前の事実を知ろうとしない者たちに、日本の行く末を託す恐ろしさを感じる▼一方で、純粹にことばだけを武器に、政府に闘いを挑んでいる人たちがいる。SEALDsに代表される若者たちだ。彼らは、ただひたすらにラップに乗せて、自分たちの主張を繰り返す。ことばの通じない相手に、ことばを届けようと必死になっている。彼らは、極めてゆるやかに組織されている。いかにも現代的に。しかしそれは、しなやかさも併せ持っているように見える。彼らの前では、ゴリゴリに凝り固まり、善か悪かの二項対立をぶつけてくるような大人たちの立つ瀬はない。